

## 第7回 新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会 審議結果

日時：平成27年2月27日（金）10:40～15:00

場所：新宮公民館2階会議室

出席：阪田憲次座長、河野広隆委員、佐々木隆委員、佐竹正文委員、渡辺博志委員

※鎌田敏郎委員および箱石憲昭委員は都合により欠席

資料：資料1 議事次第  
資料2 現地状況について  
資料3 洪水吐きゲート操作性について  
資料4 堤体下流面の漏水について

### 審議内容

#### 1. 現地状況について

堤体変位抑制工および戸当り付替工事の施工概要の説明を行った後、現地で施工状況の視察を行った。

#### 2. 洪水吐きゲート操作性について

平成27年1月までの堤体挙動についての報告、および変位抑制工施工後のモニタリング計画についての審議を行い、次の指導・助言を得た。

ダム軸方向の堤体変位については、最近では、残留変位の増加割合が減っているように見えるものの、累積的な変化は継続している。このため、引き続き注意して監視計測する必要がある。

モニタリング計画については、応力よりも構造物の状態変化を捉えやすい変位、変形の監視に重点を置く方がよい。また、鉄筋計等の計測結果は絶対値ではなく動きが急に変わるなどの変化傾向に注目するとよい。

#### 3. 堤体下流面の漏水について

ダム建設時からこれまでの監査廊内全漏水量の変化の報告があり、次の指導・助言を得た。

近年の漏水は、問題となるような量ではない。また、対策工を実施するのであれば、水平打継目からの漏水量が増加する時期に対策をすべきである。

#### 4. その他

次回検討会は、平成27年秋に開催を予定する。

以上